

12. 沖縄（地域別調査機関：一般財団法人南西地域産業活性化センター）

（－：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連 (沖縄)	◎	－	－
	○	百貨店（店舗企画）	・新型コロナウイルスの感染状況にもよるが、これまで経験してきた販売方法を年末商戦に向けて工夫しながら売上確保に臨む。
	○	スーパー（販売企画）	・前年比での消費税増税の影響は今年のみであり、2～3か月後は今までどおり新型コロナウイルス禍での客数減、買上点数増が続くとみられる。しかし、競合店出店の影響で少し悪い状況が続くとも予測する。
	○	コンビニ（経営者）	・地元の客が増加しており、観光客も少しずつ増えてきている。
	○	観光型ホテル（マーケティング担当）	・現段階の予約状況から推測される今後2～3か月後のホテル客室稼働率は、まだ前年実績に至らないものの、Go To Travelキャンペーンの効果が出てきており、予約が伸びてきている。
	○	通信会社（営業担当）	・10月に人気機種が発売されるとみられるので、供給が潤沢になれば市場は活気付くと予想する。新型コロナウイルスによる外出自粛もなくなり、今後年末に掛けて来客も増えてくるので、感染対策には十分な注意を払い安心して利用できる店作りを行えば客も戻ってくると期待する。
	○	その他サービス [レンタカー]（営業）	・Go To Travelキャンペーンの効果は少し出てきており、観光客の予約数が回復傾向にある。
	□	一般小売店 [酒]（店長）	・飽くまで一時的な回復であり、すぐに景気が回復するような国の政策がみえない。
	□	コンビニ（経営者）	・Go To Travelキャンペーン後の新型コロナウイルス感染拡大に伴い客足は激減した。9月の大型連休により期待感を持つことはできたが、連休期間のみ来店客が増加し、9月の大型連休終了後は自粛モードに戻った感が否めない。
	□	コンビニ（代表者）	・新型コロナウイルスの影響はまだ続くと判断する。今後、雇用問題が大きくなるかが不安材料である。
	□	衣料品専門店（経営者）	・今月の前半は自粛中ということで客の出が余り良くなかったが、後半に掛けては良くなってきている。しかし販売につながっている感覚はない。景気が良くなる気配はまだ感じない。
	□	観光型ホテル（代表取締役）	・期待していた修学旅行の予約もキャンセルが相次いでいる。このまま低い水準で進むとみている。厳しい状態が続いている。東京のGo To Travelキャンペーン除外が解除されることで少しは客数が増えることに期待している。
	□	旅行代理店（マネージャー）	・With新型コロナウイルスで世の中は動き出さないとはいえないとは考えるが、もう大丈夫だからという気持ちにはなかなかならない。
	□	観光名所（職員）	・10月より始まる東京都民のGo To Travelキャンペーン解禁と地域共通クーポン開始次第では大きく良い方向に改善していくのではないかと考えている。
	□	住宅販売会社（代表取締役）	・新型コロナウイルスの影響が多少落ち着いてきたのか、業況の良い一部法人企業からの投資案件の受注が見込める。
	▲	スーパー（企画担当）	・10月からの酒税やたばこ税の税率変更に伴い、販売点数の減少が予測される。
▲	コンビニ（副店長）	・10月からの本格的なGo To キャンペーン開始に伴い人の流れができ景気回復傾向とみられるが、第3波、第4波が発生した際により各個人の心理的抑制が強まると危惧する。	
▲	衣料品専門店（経営者）	・東京対象のGo To Travelキャンペーンが始まることも影響して少しは景気は上向きになるかもしれないが、これから冬に向かっていくにつれ、不安材料の方が大きくなることは間違いはない。	
×	商店街（代表者）	・新型コロナウイルスの影響があり、薬が開発されない限りは倒産や集客難など日々状況が悪化していく。	

	×	その他飲食 [居酒屋] (経営者)	・ステイホームが根付いて、前のような遅い時間の入客は取れなくなりそうなので、観光客、ネット販売、持ち帰りなど多面的な営業を始めているが、まだ結果が出ていない。飲食に関しては、新型コロナウイルスとの接触を恐れて求人が取れず、時給が上がっている。
企業 動向 関連 (沖縄)	◎	—	—
	○	食料品製造業 (総務)	・新型コロナウイルスの感染が落ち着き基調で推移するならば、徐々に景気も改善されていくとみられる。
	○	建設業 (経営者)	・新築の住宅及び介護施設関連の建築について、具体的な商談に進む客の来場が増えている。
	○	輸送業 (経営企画室)	・県外からの観光客が戻ってきているようにみられる。今後も徐々に増えていくと予想され、微増ながら消費は増えていくものではないかと考えられる。また、取引先の中には国外渡航が解禁されるに当たって、通常のビジネス拠点へ戻る方もいるため、経済活動が進んでいくとみられる。
	□	窯業・土石製品製造業 (経営者)	・新型コロナウイルス感染拡大の影響で、特に民間の大型工事予定がキャンセル、保留の状態となっている。
	□	輸送業 (代表者)	・宮古島、石垣島の建設関連は、官需部門においては新型コロナウイルス関係で停止していた現場も復活しており、比較的順調に推移すると考える。民需はホテルやアパート等が若干落ちている。そのようななか新規参入船が稼働して供給過剰となり、競争が激化しそうである。
	□	広告代理店 (営業担当)	・まだまだ新型コロナウイルス感染症の影響が改善される傾向にはなく、県内企業の業績悪化による販促活動の縮小均衡はもうしばらく続くものとみている。
	□	会計事務所 (所長)	・国民の心理的不安は当分は払拭されない。
	▲	—	—
	×	—	—
雇用 関連 (沖縄)	◎	—	—
	○	人材派遣会社 (総務担当)	・10月からのG o T oキャンペーンの地域拡大により、景気が少し回復し、求人数も増加するのではないかとみられる。
	○	求人情報誌製作会社 (編集室)	・6月後半から7月に掛けて、求人件数が増加傾向にあったが、8月の沖縄県独自の緊急事態宣言発出により、件数の減少幅が大きくなった。9月後半から観光客の増加とともに飲食業の求人件数も少しずつ増加しているので、やや良くなるのではないかと期待している。
	○	職業安定所 (職員)	・今後の新型コロナウイルス感染者数の状況変化によって予測不能であるものの、ここ最近では求人を出す新規の事業所が若干増えてきている。
	○	学校 [専門学校] (就職担当)	・新型コロナウイルス対策が広がってきて人が動き出している。取りあえず求人数が増えてきている。
	□	求人情報誌製作会社 (営業担当)	・年末に向けて求人数が減少する。
	□	学校 [大学] (就職支援担当)	・求人することに対し、先行き不透明感から慎重になっている企業がある。
	▲	—	—
	×	—	—